

「Shibboleth IdP オプション」を機能強化した「AXIOLE v1.16」をリリース**多要素認証機能(ワンタイムパスワード・クライアント証明書その他)による 2 段階認証を実装
場所・アクセス元・属性・アプリケーション(SP)等による、有効化/無効化の設定が可能に**

株式会社ネットスプリング（本社：東京都港区、代表取締役社長：西武 進）は、LDAP ベースの認証アプリケーションサーバー「AXIOLE（アキシオレ）」の、主として学術教育研究機関向けのオプション機能「AXIOLE IdP オプション」に多要素認証機能を追加する機能強化を行った新バージョン「AXIOLE v1.16」の提供を開始します。今回のバージョンアップでは、Shibboleth IdP に多要素認証（OTP ほか）による 2 段階認証が可能となる追加機能を提供します。新バージョンは AXIOLE のハードウェア新モデル「AXS105」の出荷開始（1 月 11 日）と共に提供を開始し、1 月 22 日からはダウンロードサイトからのファームウェアの提供も開始します。従来から IdP オプションのライセンスを購入済みのユーザーは、V1.16 へのバージョンアップ後に、無償で多要素認証機能を利用することができます。

AXIOLE IdP オプションは、全国の大学等と国立情報学研究所（NII）が連携して運用する「学術認証フェデレーション」（学認：GakuNin）の相互認証連携システム「Shibboleth」に対応し、異なる組織間でのシングルサインオンを可能にする IdP（Identity Provider）機能を提供しています。

今回実装した多要素認証機能は Shibboleth IdP の最新バージョンである IdP V3 をベースに、追加機能として実装し、AXIOLE の新バージョン V1.16 の IdP オプション機能として提供されます。多要素認証機能として本バージョンでは、2 段階認証（2FA）の機能を提供します。導入時に管理者は、管理画面の GUI で設定項目を設定するだけの極めて容易な操作で設定が可能です。

本バージョンのリリースと同時に、AXIOLE の IdP 機能のみに限定した「IdP 専用アプリケーションモデル」（外部認証参照のみ）および仮想アプリケーション版「AXIOLE-i」と Microsoft Azure 版「AXIOLE for Azure」（V1.16.2 以降）にも、本機能が提供されます。

AXIOLE の IdP オプション（V1.13 以前）を利用中の組織においては、バージョンアップに際して、IdP に関連する設定変更その他の作業が必須となります。IdP オプション機能以外については、設定変更その他の作業は必要ありません。また、IdP V3 の導入に際して、SP（Service Provider）側の変更作業その他は一般的に不要です。

新バージョンとなった Shibboleth IdP オプションにより、AXIOLE は、国内参加機関数も 200 を越え本格的な普及期に入りつつある学認への参加や地域大学間連携機能、また、SAML 連携機能の本格運用へ向けて 2 段階認証機能を付加し、よりセキュリティ面においても安心して導入が可能なオールインワンの認証アプリケーションサーバーとして、今後も顧客ユーザーの期待や要望に応じていきます。

■AXIOLE v1.16 の多要素認証機能の実装概要

- ① 第 2 認証方法（2FA 機能）の追加（管理者による選択可能）
 1. 乱数コード、ワンタイムパスワード（TOTP）、バックアップコード
 2. クライアント証明書
- ② 追加認証情報の通知手段
 1. スマートフォン上の各種認証アプリ経由

- OTP 生成アプリ (Google Authenticator, MS Authenticator, HDE 他多数)
- 2. 携帯・スマートフォン等のメール経由
- 3. スマートフォン等の SMS 経由 (計画中)
- ③ 追加認証方式の適用対象の設定 (主に管理者による WebUI で設定)
 1. Web アプリケーション (Shibboleth SP) 単位
 2. 位置や場所 (利用者端末の IP アドレス) 単位
 3. ユーザー (ユーザーの所属や資格などの) 属性単位
- ④ 追加認証タイミング (管理者による適用対象設定可能)
 1. IdP 認証時 (IdP オプションライセンス保有時)
 2. AXIOLE 標準のユーザー WebUI のログオン時 (標準提供)

(注) ユーザーによるパスワード変更や多要素認証設定関連 UI へのログオン時

●AXIOLE-IdP 多要素認証での利用者設定画面例



●AXIOLE-IdP 多要素認証の認証ステップ画面例



■AXIOLE v1.16 のその他追加修正

- ハードウェアアプライアンス新モデル AXS105 に対応
- スキーマ定義の編集機能
- IdP 関連および OSS 関連の多くの修正

■AXIOLE v1.16 (AXS105 モデル) 販売価格

- AXIOLE 500 ユーザー 95 万円 (メーカー希望価格) より
本体および初年度のライセンス費用ならびに保守費用を含む
- AXIOLE IdP オプション機能 ライセンス料金 60 万円より (500 ユーザー：一括払い)
 - Shibboleth IdP 機能
 - ・ Shibboleth IdP V3 対応
 - ・ 条件同意機能 (uApprove 相当)
 - ・ SP 簡易ポータルサーバー機能
 - ・ FPSP 機能 (Filter Per Service Provider 機能。SP アクセスポリシー)
 - ・ Office365 対応 (SAML 連携機能による SSO や ECP 対応)
 - ・ 多要素認証機能 (今回実装)
 - AXIOLE IdP 専用アプライアンス 本体価格：167 万円 (メーカー希望価格) より
本体および初年度のライセンス費用ならびに保守費用を含む
 - Shibboleth IdP 機能限定 (条件同意/SP 簡易ポータル/FPSP 機能含む)
 - ・ 外部認証データベース利用前提 (AXIOLE アカウントなし)
 - 仮想化アプライアンス版 (VMware vSphere 版) も同時提供
※価格はすべて税別

AXIOLE 製品専用サイト：<http://www.axiole.jp/>

以上

【参考 1】AXIOLE 「IdP オプション」の主な機能



- 連盟“フェデレーション”内での Web 認証機能と Web アプリケーション間シングルサインオン機能
フェデレーションに参加することで、フェデレーション内の複数の Web アプリケーション (SP) をシングルサインオンで安全に利用できるようになります。
- Shibboleth 向け (GakuNin 推奨) 属性等の定義を標準提供
学術機関向けに、Shibboleth (GakuNin) 環境で利用されることの多い属性等を予め定義しており、職種、利用資格等の属性を AXIOLE の WebUI から編集することが可能になります。必要なメタデータ等のテンプレートが標準提供されます。
- 利用可能な Web アプリケーションの自動更新機能
フェデレーション内の Web アプリケーションが追加された場合、その情報は定期的に AXIOLE 内に取り込まれるため、自動的に新しい Web アプリケーションの利用が可能になります。
- Stored ID (persistent-id) の利用および管理
どこの Web アプリケーションからどのユーザーが IdP の認証を受けたかという識別情報を AXIOLE 内部で持続的に保持。IdP 認証時にこの Stored ID を送信することで、Web アプリケーション側においてユーザー単位で前回の情報を参照・自動復元等が可能。また Stored ID の検索・ダウンロード・削除等の管理機能が提供されます。
- IdP ログ管理
AXIOLE の管理 WebUI で IdP ログの管理が可能。IdP による認証を受けたユーザー、Web アプリケーション、要求・応答の内容の参照や保存・転送等の管理が容易に行えます。
- IdP 機能の冗長化が可能
AXIOLE の冗長構成 (AXIOLE リダンダンシ構成) により IdP の冗長構成も可能に。

【参考 2】AXIOLE の特長・機能、およびオプション機能について

- ・LDAP ベースの認証基盤を 1U のアプライアンス形態で提供
- ・スキーマ属性等 DB 設計が不要
- ・日本語 WebUI ベースの管理システムおよびエンドユーザー向け機能を提供

- ・ RADIUS プロトコル (RADIUS プロキシ-/eduroam) にも対応
- ・ ActiveDirectory (AD) と ID 同期が可能
- ・ AXIOLE 2 台による冗長構成が可能
- ・ 「LDAP スキーマオプション」
汎用的な LDAP 機能を提供 (有償)
- ・ 「Google Apps 連携オプション」
AXIOLE と Google Apps 間の ID 同期機能を提供 (有償)
- ・ 「Shibboleth IdP オプション」
AXIOLE と Shibboleth の IdP(V3)連携機能を組込提供 (有償)

【参考 3】 ネットスプリングのその他の主な製品

- ・ eFEREC-1 / eFEREC-2 (統合エンドポイントアクセス制御装置) 新製品
eFEREC 製品専用サイト : <http://www.eferec.jp/>
 - ・ SSOcube (汎用型シングルサインオンソリューション)
SSOcube 製品専用サイト : <http://www.SSOcube.jp/>
 - ・ SmartSignOn for FEREC (スマートサインオン) iPhone/iPad 版および Android 版アプリ
SSO4F 専用サイト : <http://www.smartsignon.jp/>
 - ・ FEREC520 / FEREC720 / Center2 (Web 認証ゲートウェイ製品群) 全モデル生産終了
FEREC 製品専用サイト : <http://www.ferec.jp/>
- ※記載された会社名および製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

【株式会社ネットスプリング 会社概要】

- ・ 本社所在地 : 東京都港区三田 3-12-16 山光ビル 2F
- ・ 代 表 者 : 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 西武 進 (にしたけ すすむ)
- ・ 設 立 : 2000 年 3 月
- ・ 資 本 金 : 8,075 万円
- ・ 事 業 内 容 : ネットワーク関連製品の企画・開発・販売
コンピュータネットワークに関するコンサルティング
- ・ U R L : <http://www.netspring.co.jp/>

※記載された会社名および製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

<p>一般読者からのお問い合わせ先: 株式会社ネットスプリング マーケティング部 TEL : 03-5440-7337 E-mail : info@netspring.co.jp</p>
<p>報道関係のお問い合わせ先: 株式会社ネットスプリング広報事務局 アルサープ内 担当 : 河端、川口 TEL : 03-4405-8773 E-mail : netspring-pr@alsarpp.co.jp</p>